

# 東京大学 「イノベーションを創出するグローバル科学技術人材の育成プログラム」

## ●育成したい人材像

グローバルな視点に立ち、以下の資質・能力を兼ね備えた科学技術人材  
 ・今後の社会をデザインできる革新（イノベティブ）性  
 ・「新しい知の創造」および「社会的価値の創造」を実現できる創造性

## ●背景（問題意識）

- ・超高齢化・少子化社会の我が国では、SDGsを踏まえたSociety5.0(超スマート社会)の実現と、今後を見据え、社会をいかに構築していくかが大きな課題である
- ・グローバル化が進む中、Diversity & Inclusion な社会の実現が望まれている
- ・本学ではSDGsを活用した未来社会協創を推進している

## ●企画の主な特徴

### 創造性を持つグローバル科学技術人材のSTEAM型育成プログラム

- ・本学の多様なリソースを活用した2段階のSTEAM型教育プログラムを開発・実施
- ・主体組織が中心となり開発した教育プログラムを全学的に展開
- ・「創造性を形にする力」の習得を目的とした【①知識俯瞰、②情報分析、③課題解決、④研究検証、⑤研究マネジメント】能力を育成
- ・STEAM型学習や価値創造ワークショップにより研究課題を検討 →①、②を育成
- ・興味関心に応じた研究課題を設定、全学的に受入研究室を検討 →①～⑤を育成
- ・英語による「研究の手引き」や「研究倫理」セミナー →③～⑤、国際性を育成
- ・連携企業へのサイトビジットを通じた社会課題の理解 →③～⑤を育成
- ・国際連携によるグローバルな視点の習得 →④、⑤、国際性を育成
- ・第二段階に進めなかった受講生に再挑戦の機会を設けるための補助段階を設置
- ・受講生の選抜、資質・能力の育成状況把握と評価のための方法・システム開発

## ●企画の主体組織

東京大学 生産技術研究所

## ●連携機関

- 【教育委員会】岩手県、秋田県、群馬県、埼玉県、東京都(予定)、神奈川県、福井県、滋賀県、和歌山県、さいたま市、千葉市、横浜市  
 【企業】花王(予定)、キャタピラー、関水金属(KATO)、東京地下鉄(東京メトロ)(予定)、日本IBM、日本航空(JAL)、日本精工、ボンサイラボ、JX金属

## ●企画の最終目標

- ・イノベティブなグローバル科学技術人材の輩出
- ・創造性教育プログラムおよび評価方法の確立と普及
- ・産官学民連携によるコンソーシアムの構築と継続的運営

